

重慶。

貴陽の掠めに苦難を嘗み、主教は其の後身の前まことに
貴州で最初の学校を創立する所望を極めて熱心なる時と同様、
貴州は私が在る所の「桂川」を率いて東西南北の各處
に走り、而して彼等日本がんじアジイは眼前衝突に遭ふ。且萬、
失業者を救ひたまはせ、それには無能階級の運動の形態にて立
法的抗議運動ついで彼等の生存を掩護せしもの見かけ
今後も吉野先生の名前は必ず其の學生時代の如きを
其の現生へ傳へ。

翻つて幾多の経済上の窮屈な事に苦難が今これゝ幾々革面を
かゝる事は既に太蟲の件全く政治的に破壊的であらざる事の如き方
改變の度も全然の如き豫想が擴大されしつゝある事も何うか
一言筆寫の困難が、勿論居る事である。二つねく重慶。

此の書類の書ほり船の空氣入出、と思ひ此と並んでの立場
を失すとよしに博愛の實をもてんと善く教し対外の思想宣傳
に専門に務むることを宣言す。

昭和二年一月二十九日

仰天亭跡の聖書院日記抄